

一 般 質 問 通 告 書

令和 7年10月29日

議 会 議 長 様

議席番号 13 番

議員氏名 伊 藤 美佐子

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 介護福祉特化のシェアリングサービス、スケッター（Skettter）の活用を	スケッターは、働き手不足が叫ばれる介護業界のなかで、介護業界未経験者のマッチングに特化し、レクリエーション、清掃、配膳、傾聴などお手伝いを依頼したい「事業所」と介護や福祉領域に関心がある「地域住民（有償ボランティア）」をマッチングするサービスです。スケッターを通して、社会全体で支える「地域包括ケアシステムの深化・推進」を行う動きが始まっています。 茨城県大子町（人口約3万人）は2023年1月から、東京都中野区（人口約30万人）は2024年7月から、また、埼玉県川口市（人口約60万人）は2024年7月から開始しています。川口市では、この秋ごろから、厚労省の補助金「介護未経験者等マッチング強化モデル事業」を活用して予算化し、約500万円で調整中と聞いています。 （1）担当課として、スケッターを活用した介護業界における業界未経験者の地域住民とのマッチングの動きについての考えは。 （2）スケッターとしての登録者は専門職をサポートする立場で、今後関係人口を増やすことにもつながり、2040年介護人材不足問題に向けたサービス提供体制等のあり方にもつながると考えるが見解は。 （3）実施している各自治体ではスケッター登録を繋げる役割として住民へ呼びかけ（周知）を行っているが、町・担当課の考えは。	町長 副町長 高齢介護課長 担当課長

10月29日 午前・午後 8時33分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
2. 安全・安心な一般廃棄物（家庭ごみ）処理の推進は	(4) 提携を結ぶにはシステム使用料が発生するが、連携の協定と委託契約のうち、費用負担無しの協定から進める方法で行う状況が多いようである。当町の見解は。 住民の安全・安心な生活を維持するために、一般廃棄物対策は重要な問題と考えます。令和6年9月30日付で環境省再生・資源循環局長名で各都道府県知事あてに発出された物価高騰・賃上げ等取引環境を整備することなどの通知から約1年以上経過しているが、当町としての対応やその他の問題点等について伺います。 (1) ごみ収集は、清潔で健康な生活をしていくうえで必要不可欠な事業と考える。人口減少が加速している現在、業務の担い手不足により収集現場では混乱が始まっているようだが、町はどのような対策を図っているのか。 (2) 今、社会的に大きな問題となっているリチウムイオン電池の回収対策について、環境センター内での火災が生じないよう回収方法等は検討しているのか。 (3) 家庭ごみを自力で収集場所に運び込むことが困難な高齢者らを対象に、戸別収集による支援を開始している自治体が増えている。当町の現状と今後の支援拡大は。	町長 副町長 環境課長 高齢介護課長 担当課長
3. セカンドブック事業の進展は	セカンドブック事業については、平成31年第2回定例会の一般質問から、令和5年6月まで質問をしています。最後の質問時では、「新1年生につきましては、ブックスタートのバッグよりたくさん入る仕様のバッグを配付し、今後、来年度（令和6年度）は6年生まで全学年に行きわたりますので、その段階でセカンドブック事業については研究する」とのことでした。そこで伺います。 (1) 今までどのような検討・研究がされてきたのか。 (2) 令和4年2月時点の県立図書館協力調査では11市町で実施とのことでしたが、その後の調査結果は。 (3) 近隣の幸手市、宮代町でも名称は違うが実施している。当町でも参考に実施を図ることはできないのか。	町長 副町長 社会教育課長 担当課長